

近江八幡市 不登校の予防・早期対応に向けて

～不登校を本格化させないために、支援レベルに応じた対応を！～

支援 レベル	欠席状況	支援体制	シートの活用
-	-	【 学校生活を観察(全教職員) 】 →学年会や各種部会等で情報共有	A.不登校予防のための予兆チェックシート
1	欠席1日	【 電話連絡(担任) 】 →子どもの状況を把握	共通実践《1》《2》
2	連続欠席2日	【 家庭訪問(担任) 】 →・子どもの状況を把握 ・保護者からの聴き取り	
3	連続欠席3日 断続欠席7日	【 ミニケース会議(学年、関係者等) 】 →学年で組織的に対応	B.欠席実態把握・初期対応シート D.ケース会議シート
4	連続欠席5日 断続欠席10日	【 校内ケース会議 】 →学校で組織的に対応	C.アセスメントシート D.ケース会議シート (E.ケース会議継続シート)
5	連続欠席10日 断続欠席15日	【 ケース会議 】 →専門のスタッフ(SC、SSW、教育相談員等)および関係機関と連携した対応	C.アセスメントシート D.ケース会議シート (E.ケース会議継続シート)

【支援レベルに応じた対応】

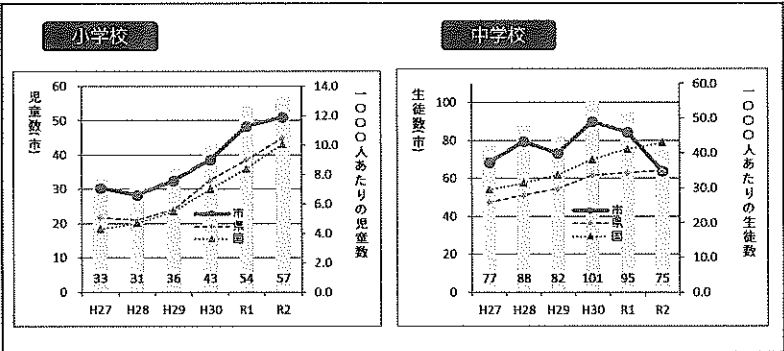
ここ数年、本市の不登校在籍率は、右図に示すように、小学校においては、国や県の数値を上回る状況ですが、中学校においては、昨年度は国の数値を下回っています。

本市では、「不登校0をめざすプロジェクトΣ(H26～H28)」や「不登校対策支援チーム会議(H29～)」といった、不登校の予防・早期対応のための特別な組織を立ち上げ、子ども一人

一人について、上の表に示すような、支援レベルに応じた対応が図られることを推進してきています。

そうした取組の成果として、右の表に示すように、本市の不登校継続率が下がってきていることが挙げられます。これは各校において、ケース会議を活用した組織的対応や、専門のスタッフ（SC・SSW・教育相談員等）および関係機関との連携が根付いてきており、

これまで以上にきめ細やかな再登校に向けた支援が行われていることの表れだと考えられます。
しかしながら、前述のとおり、不登校在籍率が高止まりしているのは、毎年新たに不登校となる子どもの人数が増加傾向にあることに起因しています。そうした本市が抱えている課題を解決に導いていくためには、不登校の予防や初期段階(～支援レベル3)での支援体制を強化・徹底していくことが有効であると考えます。



【不登校在籍率の推移】

不登校継続率(%)	H28	H29	H30	R1	R2
近江八幡市	81.9	77.9	94.0	76.2	64.9
全国(公立)	83.6	84.9	84.1	77.0	75.1

【不登校継続率の推移】

共通実践《1》《2》へ

共通実践《1》 不登校の未然防止を意識した欠席連絡への対応



保護者からの欠席連絡の際、「体調不良」「睡眠不足」等、はっきりとしない理由をそのまま受け入れ、子どもの状況把握が十分にできておらず、不登校へとつながってしまうケースが少なくありません。そこで、不登校の未然防止の観点から、日々の欠席連絡において、**保護者とともに子どもの心身の状況把握に努め、早期に適切な対応を図る**ことに取り組んでいきます。

① 保護者からの欠席連絡の際、必ず理由を確認する。

- ※小学校の低学年については、連絡帳を活用した保護者とのやりとりも想定される。
- ※家庭が不安定で、保護者からの欠席連絡が入らない（連絡がつきにくい）ケースもある。「毎朝の健康観察や下駄箱チェックで児童の登校状況を確実に把握した上で保護者との連携を図る」等、各校の実情に合わせた取組も必要になる。

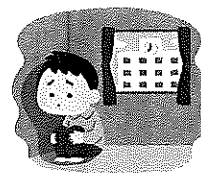


② 保護者とのやり取りを通して、子どもの心身の状況把握に努めた上で対応する。

➡ はっきりとしない理由（病気、忌引き等の家庭の事情以外の理由）の場合

- ・子どもの心身の状況について丁寧に聴き取る。
- ・可能であれば登校（保健室・別室も可）させてもらえるように伝える。
- ・身体的な不調を訴えている場合には、病院へ連れて行っていただくように伝える。

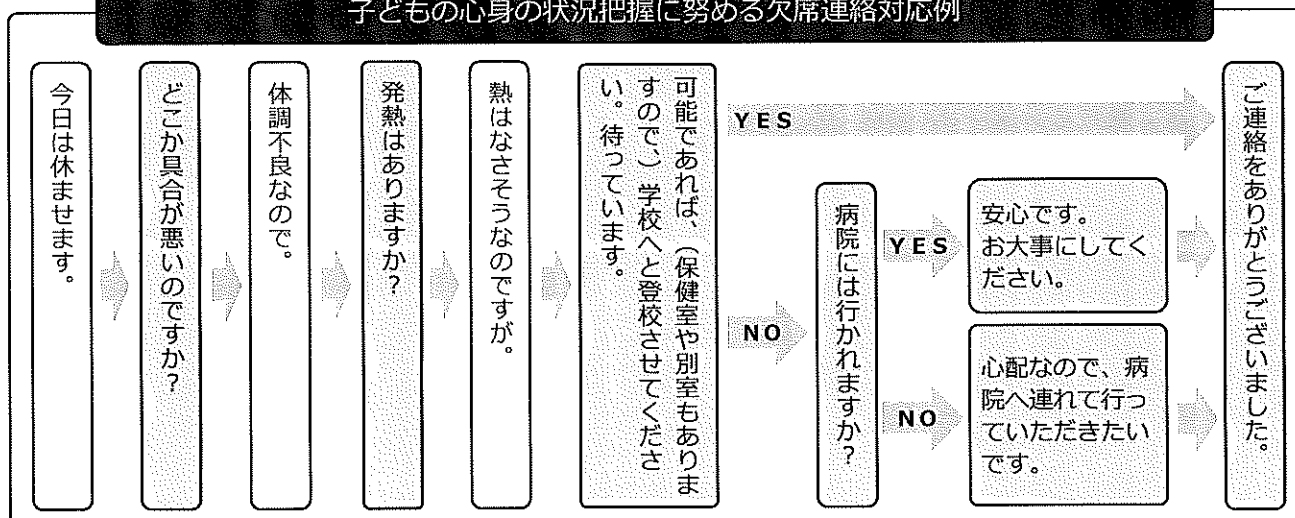
※「体調不良」「睡眠不足」等、はっきりとしない理由の裏側に、うまく周りに伝えられていないつらさや悩みなどを抱えており、“欠席する”という行動で表現しようとする子もいることに留意しなければならない。日々の学校生活や家庭環境などの見取りから、そうした心の不調が窺える場合には、すぐさま登校や病院受診を促すことが、子どもに寄り添った対応だとは言い難い。欠席連絡の時には、あまり深くまで理由を問うことはせず、家で安心して過ごす時間を保障することも一つの手立てかもしれない。ただし、できるだけ早く、思いの聴き取りや心のケアをする場面をつくることは必要になる。



➡ 病気が理由の場合

- ・体温測定や医師の診断結果を保護者に確認する。
- ・まだ医師の診断を受けていなければ、病院へと連れて行っていただくように伝える。

子どもの心身の状況把握に努める欠席連絡対応例



共通実践《2》 「不登校予防のための予兆チェックシート」の活用



子どもは自分の気持ちを言葉でうまく表現できず、つらさや悩みなどが表情や行動、身体症状となって現れることが多いため、教職員による日常の丁寧な観察が重要となります。

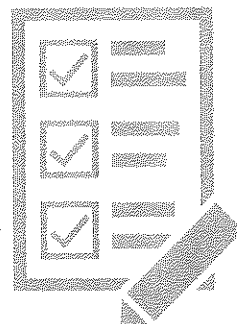
「不登校予防のための予兆チェックシート」には、不登校の予兆と考えられる①～⑮の子どもの姿が示されています。

シートの活用により、**子どもを見守る視点を明確にもつ**ことで、子どもたちの状況を的確に把握します。また、共通の視点をもった**複数の教職員の目**で子どもを見守ります。学年全体や学校全体で実施することにより、教職員間で情報交換したり相談したりすることを可能にし、不登校予防に向け、共通理解をした**教職員間の連携**につなげます。

日常での記入に加えて、月末に各学級の子どもたちの出欠状況を確認する際などに記入し、学年会や教育相談部会、教育相談週間などの機会を利用して、シートの記録をもとにした情報交換を行うことが有効であると考えます。

不登校の予兆と考えられる子どもの姿（チェックリスト）

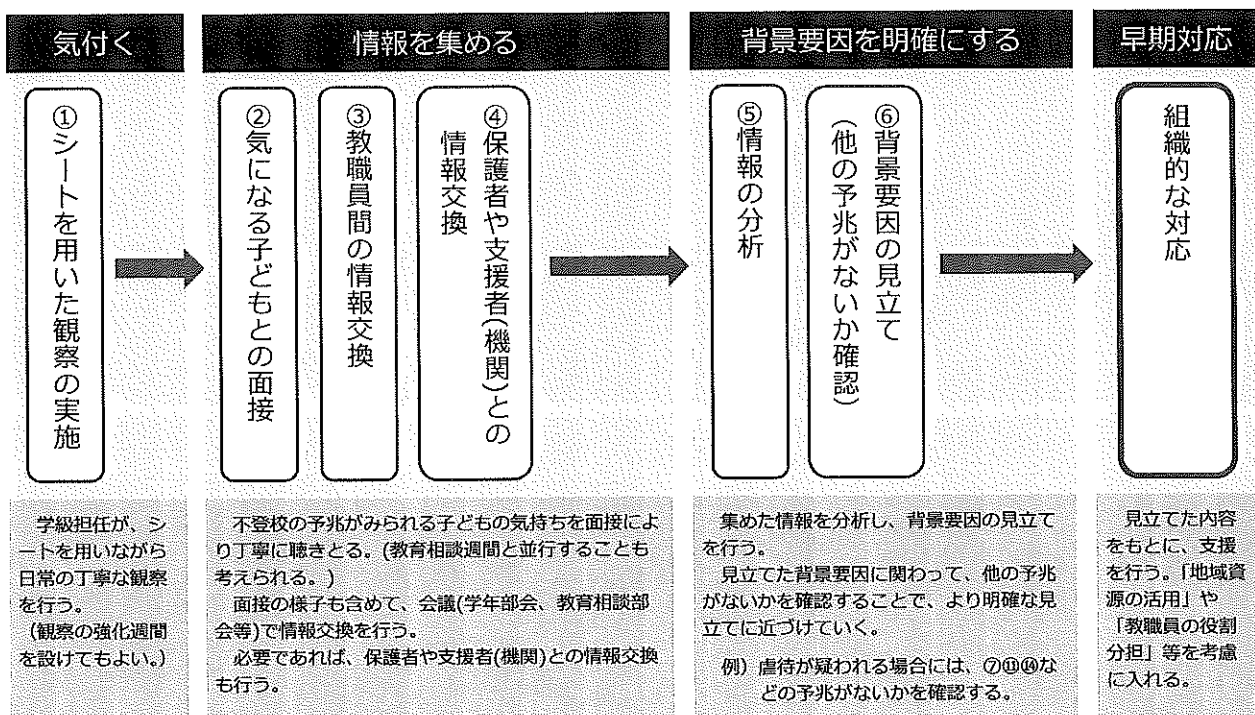
- | | |
|------------------|-------------------|
| ①保護者が送ってくることが増えた | ⑨休み時間に1人であることが増えた |
| ②遅刻が増えた | ⑩教師に話しかけに来ることが増えた |
| ③早退が増えた | ⑪きょうだいの欠席が増えている |
| ④授業中に教室を出ていく | ⑫テストの点数が下がった |
| ⑤忘れ物が多くなった | ⑬教科によって態度が違う |
| ⑥保健室の利用が増えた | ⑭身なりに変化があった |
| ⑦給食を食べる量の増減がある | ⑮部活を休むことが増えた（中学校） |
| ⑧友人関係でトラブルがあった | |



有効な予兆チェックシートの活用に向けて（活用手順例）

子どもの実態や学校の実情に合わせて、「記入方法」「実施時期」「実施後の対応」「シートの保存方法」等について検討し活用する。不登校の予兆に早期に気づき適切に対応するきっかけづくりとしての活用を目指す。

【活用手順例】～学年部会や教育相談部会等の機会を利用して実施する例～



年 組		A.不登校予防のための予兆チェックシート (年度)										担任:					
氏 名		①保護者が送ってくるこ とが増えた	②通刻が増えた	③早退が増えた	④授業中に教室を出ていく	⑤忘れ物が多くなった	⑥保健室の利用が増えた	⑦給食を食べる量の増減がある	⑧友人関係でトラブルがあった	⑨休み時間に入っていることが増えた	⑩教師に話しかけて来るこ とが増えた	⑪きょうだいの欠席が増えている	⑫テストの点数が下がった	⑬教科によって態度が違う	⑭身なりに変化があった	⑮部活を休むことが増えた(中)	備考
例	1 近江 太郎	○ 5月の通欠明けから					○										昨年度、欠席が続く時期あり SSWとの連絡を視野に
	2 八幡 花子					○						○					
	3 故郷 良夫									○							
	4																
	5																
	6																
	7																
	8																
	9																
	10																
	11																
	12																
	13																
	14																
	15																
	16																
	17																
	18																
	19																
	20																
	21																
	22																
	23																
	24																
	25																
	26																
	27																
	28																
	29																
	30																
	31																
	32																
	33																
	34																
	35																

* 日々の子どもの様子から、①～⑮にあらはまることがあったときにチェックをする。そして、学年や学校で相談するときの手がかりとする。

ホームスタディ

訪問での支援が必要な、市内に在住する不登校の小学生・中学生を対象に、学校に復帰するためのきっかけづくりや、社会的自立を目指した支援を行います。



- 学習改善に関する支援
- 生活改善に関する支援
- 自分探しに関する支援
- 人間関係改善に関する支援

その他、一人一人に合わせて必要な支援を行います。

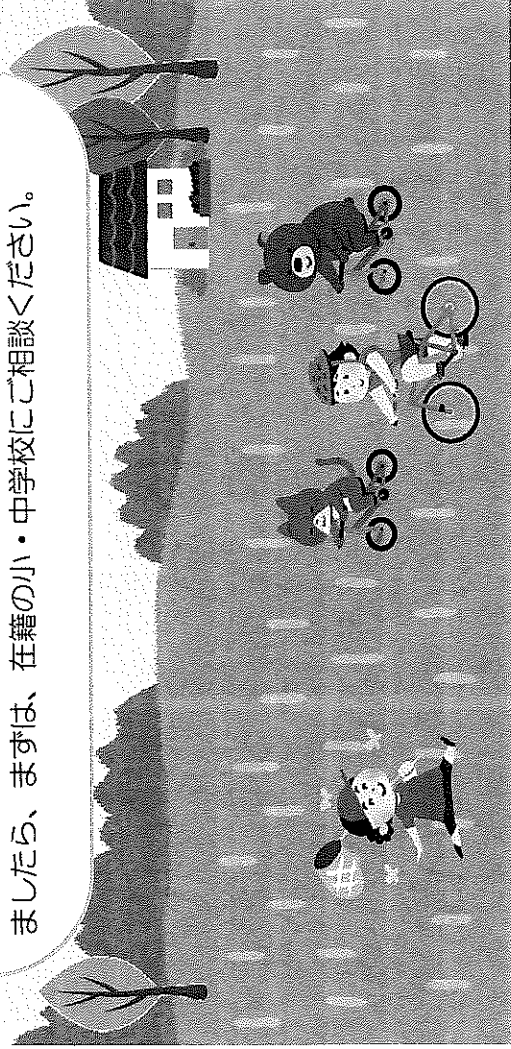
* 活動場所

児童生徒の自宅、公共施設など

* 対応時間

平日午前10時から午後4時00分までの間で、一人週1回
1時間程度

※ ホームスタディの利用を希望される場合やご質問等がありましたら、まずは、在籍の小・中学校にご相談ください。



近江八幡市教育相談活動の各事業のご案内

校園所への行きしぶり、不登校、いじめ、問題行動などの教育に関する悩み、就学、子育てについての悩み
どうしたらいいんだろう…?

こんなとき、一人で悩まないで、お気軽にご相談ください。

* 教育相談室

* 訪問教育相談

また、不登校の子どもを対象にした支援を行っています。

* 適応指導教室「よしづえ」

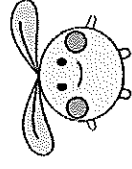
* ホームスタディ

☆相談のお電話はこちらへ

教育相談室

TEL 0748-37-8877 (平日 9:00~16:30)

つなき・ねばり・はげみ



☆つながらない時は…

TEL 0748 - 37-1205

つなき〜

教育相談室

校園所への行きしぶり、不登校、いじめ、問題行動など、教育のこと、就学や子育てのことで悩んでいる…

こんなとき、一人で悩まないで、教育相談室にお電話ください。

教育相談室では、電話相談（電話で相談に応じます）、面接相談（相談室で相談に応じます）を行っています。

相談員がお話をお聞きし、悩みの解決への糸口を見いだす支援を行います。

* 開室日時
月～金曜日 9:00～16:30

* 対象
市内在住の幼児・小学生・中学生、およびその保護者

* 場所・連絡先
〒523-0891 近江八幡市鷹飼町52 マナビイ2階
TEL 0748-37-8877

訪問教育相談

お子さんの学校で、相談をしていただくことができます。
市立の小学校・中学校に派遣された相談員が、行きしぶり、不登校、いじめ、問題行動など教育に関する悩み、子育てについての悩みをお聞きます。

相談を希望される方は、在籍の市立小学校・中学校へご連絡ください。

適応指導教室「よしぶえ」

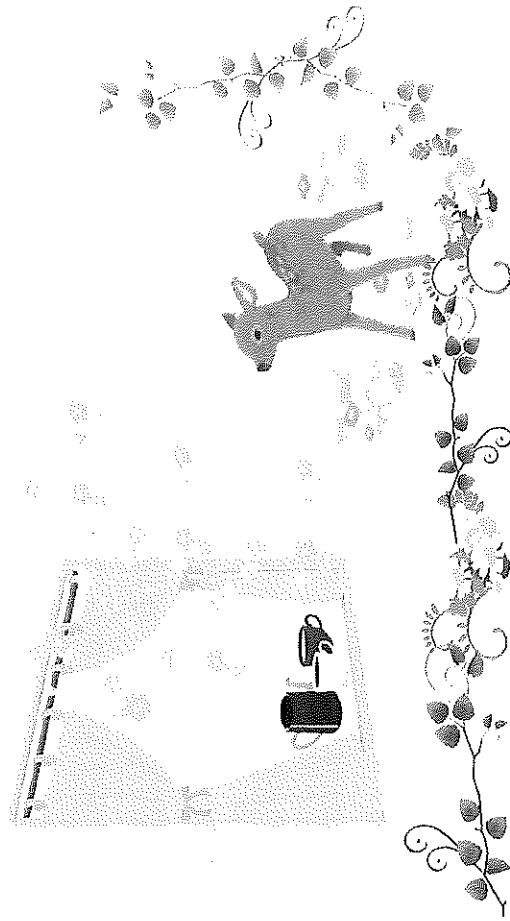
適応指導教室「よしぶえ」では、市内に在住する不登校の小学生・中学生を対象に、学校復帰をめざした活動や支援を行っています。活動には、個別活動と集団活動があります。

- ・個人に合わせた学習
- ・スポーツ活動や文化活動、創作活動、野外活動、園芸活動など

* 開室日時
毎週 月～金曜日 9:00～14:30
一人一人に応じた曜日設定、時間設定をします。

* 活動場所
よしぶえ活動教室、畑など

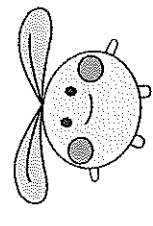
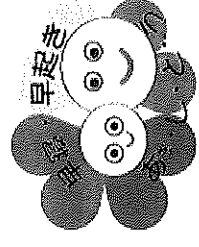
※ よしぶえの利用を希望される場合やご質問等がありましたら、まずは、在籍の小・中学校にご相談ください。



教育相談室1

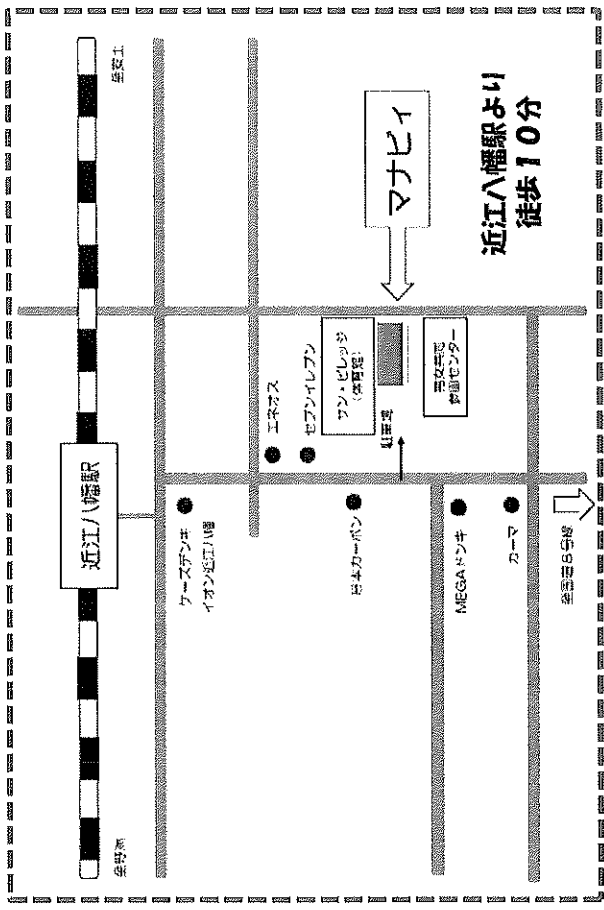


教育相談室 (マナビ2階)



元気と笑顔の合言葉

交通アクセス

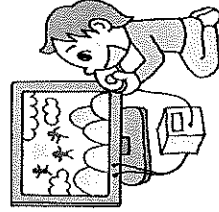
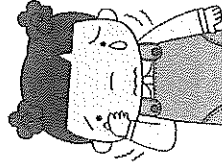


教育相談室
〒523-0891
近江八幡市鷹飼町52 マナビ2階

教育相談室は、お子さんの 学校生活や子育てのことなどを 相談できる場所です

例えば・・・

- ・学校を休みがちになってきた。
- ・友だちや先生、家族との関係で困っている。
- ・イライラして情緒が安定しない。
- ・いじめを受けている。
- ・無気力になっている。
- ・ゲームやSNSばかりしている。
- ・子育てが思うようにいかない。



対象

市内在住の幼児・小学生・中学生本人
および その保護者

保護者の方へ

☆予約

まずは、電話で「教育相談を希望します。」とお伝えください。担当の相談員が、お話を聞かせていただきます。

☆相談

- ・教育相談室は、相談員が電話による相談及び面接による相談を行います。

☆その他

- ・相談に関する費用はかかりません。
- ・面談場所は、マナビイ2階の教育相談室1で行います。
- ・教育相談室1へお越しの際は、階段で2階に上がっていただき、右へお進みください。

相談の申し込みは電話で受け付けます。



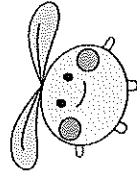
連絡先

教育相談室1

0748-37-8877

(月曜日～金曜日 9:00～16:30)

※祝日、年末年始を除く



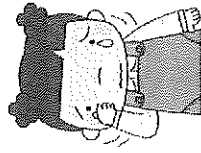
交通777



ホームステイは、 お家から出られないお子さんの 学習や生活を支援します

例えば・・・

- ・ 長期の間、学校を欠席している。
- ・ 友だちや先生、家族との関係で困っている。
- ・ イライラして情緒が安定しない。
- ・ 学習についていけず、心配している。
- ・ 無気力になっている。
- ・ ゲームやSNSばかりしている。
- ・ 子育てが思うようにいかない。

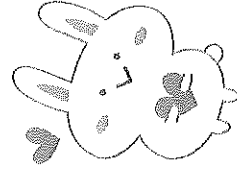


何をするの??

- ・ ホームステイアドバイザーが市内に在住する不登校の小学生・中学生を対象に、学校に復帰するためのきっかけづくりや、社会的自立を目指した支援を行います。

- ①学習改善に関する支援
- ②生活改善に関する支援
- ③自分探しに関する支援
- ④人間関係改善に関する支援
- ⑤その他必要な支援

- ・ 社会的自立ができる人をめざします。



保護者の方へ

- ①相談…直接または学校を通じて、**教育相談室1**へご連絡ください。
本人や保護者の方の思いや願いを相談員が聞き取ります。
- ②体験…希望があれば、体験も可能です。
- ③申込…学校と十分相談いただき、適用手続きを学校から説明していただきます。
- ⑤決定…適用が決まりましたら、学校を通じて連絡させていただきます。

支援時間

9：00～16：00のうち、一人週1回1時間程度

場所

児童生徒の自宅
公共施設や民間施設など



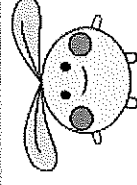
連絡先

教育相談室1

0748-37-8877

(月曜日～金曜日 9：00～16：30)

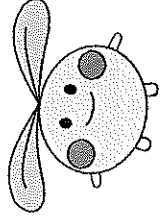
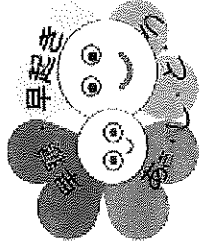
※祝日、年末年始を除く



※入室に当たっての留意事項

- ・保護者の責任のもと、安全に気をつけて通所できるように努めてください。
- ・子どもだけの通室途中および活動中のけがについては、「独立行政法人日本スポーツ振興センター」の適用があります。
- ・活動にかかるさまざまな費用は、必要に応じて集めます。

適応指導教室「よしぶえ」 (マナビィ2階)



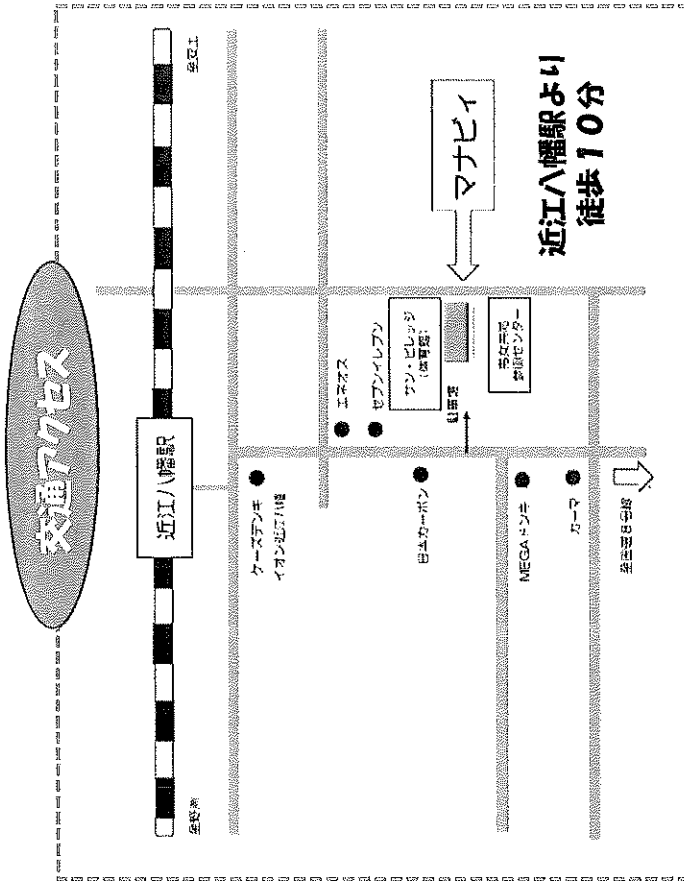
元気と笑顔の合言葉



適応指導教室「よしぶえ」

〒523-0891

近江八幡市鷹飼町52 マナビィ2階



適応指導教室「よしぶえ」は、 悩みや不安を抱えた子どもたちを サポートする場所です

よしぶえでは・・・

市内に在住する小学生・中学生を対象に、安心して自分を出せるような「心の居場所」をつくり、学校復帰を手助けすることを目的としています。
一人ひとりの状態に応じ、様々な活動を通して、困っている部分をサポートしていきます。

活動について

- ・学習
- ・制作活動（教室飾りなど）
- ・室内ゲーム（カロム、テーブルゲームなど）
- ・苗の植え付け、野菜作りなどの栽培活動
- ・収穫した野菜を使った調理活動
- ・飼育活動（メダカの世話など）
- ・屋外学習
（社会体験活動など）



保護者の方へ

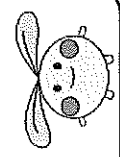
☆通所するまでには・・・

- ①相談…直接または学校を通じて、**教育相談室1**へご連絡ください。本人や保護者の方の思いや願いを相談員が聞き取ります。
- ②見学…指導員と会っていただき、教室の雰囲気等を見ていただきます。
- ③体験…希望があれば、体験入室も可能です。
- ④申込…学校と十分相談いただき、通所手続きを学校から説明していただきます。
- ⑤決定…入室が決まりましたら、学校を通じて連絡させていただきます。

開室日・活動時間

毎週 月～金曜日 9:00～14:30

場 所 マナビイ2階「よしぶえ」



連絡先

教育相談室1

0748-37-8877
(月曜日～金曜日 9:00～16:30)
※祝日、年末年始を除く